

【工業科】

平成 2 5 年度 指導と評価の年間計画（シラバス）

盛岡工業高校 全日制課程

教科	ソフトウェア技術	単位数	2	学科・学年	電子情報科 2 年	担当者	太田原章克			
使用教科書	実教出版		副教材							
到達目標（具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】）							評価の重点			
ソフトウェアに関する知識と技術を習得させ、実際に活用する技術と態度を育てる。 ・ソフトウェアに関する知識と技術、コンピュータを運用するために必要な基本的な事項を理解させる。 ・コンピュータを活用する技術について、オペレーティングシステムとハードウェアとの関連を理解させる。 ・ソフトウェアの開発に応用する理論的かつ綿密な思考態度を育成する。							関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法						
前 期 中 間	4	1 ソフトウェアの基礎 1.ソフトウェアの重要性 2.ハードウェアとソフトウェア	コンピュータシステムにおけるソフトウェアの重要性とハードウェアとの関連を理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	5	3 ソフトウェアの基本 4.ソフトウェアの分類	ソフトウェアを明快に分類し、各ソフトウェアの基本的機能を理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	6	2 OS の概要 1.オペレーティングシステム (OS) 2.OS の歩み 3.OS の目的	OS とはどのようなソフトか、どのような機能があるか、また、今までの進化の歩みを理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート 中間考査	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
前 期 末	6	3 OS の機能 1.ジョブ管理 2.タスク管理	OS の具体的な機能を時間をかけて説明し、理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	7	3.データ管理 4.記憶管理	OS の具体的な機能を時間をかけて説明し、理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	8	言語プロセッサ 5.障害管理 1.プログラム言語 2.言語プロセッサ	各種の言語プロセッサについて説明し、また各種プログラム言語についても関連づけて理解させる	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	9	1. ソフトウェアの運用 1.ソフトウェアパッケージ 2.アプリケーションパッケージ 3.表計算	各種パッケージソフトについて説明し、必要に応じてパソコンを使用し、体験学習も取り入れ理解を深める。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート 期末考査	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
後 期 中 間	9	4. データベース 1.データとファイルの構造 2.データベースの概念	データとファイルの構造に関連して、データベースについて説明し、併せて各種のデータベースについても理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	1 0	5. ネットワークの運用	各種のネットワークについて学習し、特にインターネットについてはパソコン等も利用し理解を深める。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	1 1	.関係データベース 1.ネットワークシステムの概要 2.ネットワークシステムの機能と構成	各種のネットワークについて学習し、特にインターネットについてはパソコン等も利用し理解を深める。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート 中間考査	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
学 年 末	1 1	3.インターネット	各種のネットワークについて学習し、特にインターネットについてはパソコン等も利用し理解を深める	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	1 2	6. 情報処理システムの管理 1. OS の管理 2.セキュリティ管理	汎用コンピュータ等のOSの管理、セキュリティに関し理解させる。 コンピュータシステムの各種障害について理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	1	3.運用管理 4.ユーザー管理機能	障害対策と障害に備えたシステムについて理解	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	2	1.ハードウェア障害 2.ソフトウェア障害		観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート 期末考査	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
	3									

【工業科】

平成 2 5 年度 指導と評価の年間計画（シラバス）

盛岡工業高校 全日制課程

教科	ソフトウェア技術	単位数	2	学科・学年	電子情報科 3 年	担当者	太田原章克			
使用教科書	実教出版		副教材							
到達目標（具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】）							評価の重点			
ソフトウェアに関する知識と技術を習得させ、実際に活用する技術と態度を育てる。 ・ソフトウェアに関する知識と技術、コンピュータを運用するために必要な基本的な事項を理解させる。 ・コンピュータを活用する技術について、オペレーティングシステムとハードウェアとの関連を理解させる。 ・ソフトウェアの開発に応用する理論的かつ綿密な思考態度を育成する。							関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法						
前 期 中 間	4	1 ソフトウェアの基礎 1.ソフトウェアの重要性 2.ハードウェアとソフトウェア	コンピュータシステムにおけるソフトウェアの重要性とハードウェアとの関連を理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	5	3 ソフトウェアの基本 4.ソフトウェアの分類	ソフトウェアを明快に分類し、各ソフトウェアの基本的機能を理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	6	2 OS の概要 1.オペレーティングシステム (OS) 2.OS の歩み 3.OS の目的	OS とはどのようなソフトか、どのような機能があるか、また、今までの進化の歩みを理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート 中間考査	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
前 期 末	6	3 OS の機能 1.ジョブ管理 2.タスク管理	OS の具体的な機能を時間をかけて説明し、理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	7	3.データ管理 4.記憶管理	OS の具体的な機能を時間をかけて説明し、理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	8	言語プロセッサ 5.障害管理 1.プログラム言語 2.言語プロセッサ	各種の言語プロセッサについて説明し、また各種プログラム言語についても関連づけて理解させる	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	9	1. ソフトウェアの運用 1.ソフトウェアパッケージ 2.アプリケーションパッケージ 3.表計算	各種パッケージソフトについて説明し、必要に応じてパソコンを使用し、体験学習も取り入れ理解を深める。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート 期末考査	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
後 期 中 間	9	4. データベース 1.データとファイルの構造 2.データベースの概念	データとファイルの構造に関連して、データベースについて説明し、併せて各種のデータベースについても理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	1 0	5. ネットワークの運用	各種のネットワークについて学習し、特にインターネットについてはパソコン等も利用し理解を深める。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	1 1	.関係データベース 1.ネットワークシステムの概要 2.ネットワークシステムの機能と構成	各種のネットワークについて学習し、特にインターネットについてはパソコン等も利用し理解を深める。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート 中間考査	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
学 年 末	1 1	3.インターネット	各種のネットワークについて学習し、特にインターネットについてはパソコン等も利用し理解を深める	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	1 2	6. 情報処理システムの管理 1. OS の管理 2.セキュリティ管理	汎用コンピュータ等のOSの管理、セキュリティに関し理解させる。 コンピュータシステムの各種障害について理解させる。	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	1	3.運用管理 4.ユーザー管理機能	障害対策と障害に備えたシステムについて理解	観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート	○ ○	○ ○	○ ○	○		
	2	1.ハードウェア障害 2.ソフトウェア障害		観察記録 小テスト・課題 ノート・レポート 期末考査	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
	3									